

SSKS

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～

2025. 9月号

No. 578



さあ、仕事が来たぞ！ ～八幡作業所～



取引先からいただいていた荷物は利用者皆で運びます。特別支援学校の実習生も荷物運びに挑戦です。利用者は先輩として優しくサポートします。

「落とさないように、しっかり持ちましょう。」皆で声を掛け合いながら、次の相手へと渡していきます。全ての荷物を運び終わると気持ちの良い汗を拭いながら、自然と笑顔がこぼれていました。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



夏季インターンシップ Let's 夏のしごと体験 ～卒業後の生活を見据えて～

今年度も、法人独自のとりくみである、「夏季インターンシップ Let's 夏のしごと体験」（以下、インターンシップ）を、各学校の夏休み期間に利用の体験、生活リズムを整えていただく等を目的として行ないました。特別支援学校に通う 1 年生は 3 日間、2・3 年生は 5 日間、しごと体験では「はたらく」ことはもちろんのこと、さまざまな活動を通して実習や卒業後の生活のイメージを持っていただく機会としています。

今年度の参加者は就労継続支援 B 型事業所 21 名、生活介護事業所 12 名、総勢 33 名となりました。そのうち 8 名が高校 1 年生ということからこの事業のニーズの高さが現れます。また、前年度と比べて生活介護事業所への希望が多く、「はたらく」だけでなく、「学ぶ・楽しむ」、「くらす」活動内容について、ご家族、学校関係者の方々に当法人のとりくみに対するご理解がいただけるようになったのではないかと思います。

今回は、生活介護事業所の「ななほしワークス」、就労継続支援 B 型事業所の「八幡作業所」でのインターンシップの様子を紹介します。

体験を通して大切にしていること

ななほしワークスは、今年度インターンシップで 5 名を受け入れました。そのうち 3 名は 1 年生です。初めての校外での体験、初めて年齢層の違う人との集団活動かもしれません。それでも、将来のことを見据えて「集団活動にとりくむ」ことや、「仕事をする」といった体験を少しずつ重ねていただくことで、2 学期に学校主催の実習をする際には、しっかりと活動にとりくめる成長した姿を見せてくれるようになります。このように当法人のインターンシップは、実習前の力試しをしていただく機会になっています。

ここでは、ななほしワークスのインターンシップで特に大切にしていることを、A さんの事例を紹介しながら、お伝えします。



【初めてのことも一緒に安心】



【できた喜びの笑顔です】

A さんは 3 日間のインターンシップを行ないました。初日は活動中もなかなか着席することもできませんでした。職員はそのような行動を、本人の「不安の表れ」ではないかと考え、焦らずに様子を見ながら、少しずつ活動へと促していきました。A さんに、ななほしワークスが安心できる場所、楽しめる場所であることを理解してもらうことが、関係づくりの第一歩です。決して焦らず、A さんのとりくみをしっかりと受け止めることで、緊張も解け、活動にとりくめるようになりました。

ななほしワークスでは、生産活動、創作活動、運動活動、学習活動、図書館利用を目的としたウォーキング活動などを曜日別に分けて実施しています。

これからも、さまざまな活動を通して、良好な関係を築くことで、本人が安定して過ごせることを期待しています。

できたことが嬉しい



【破れないように優しく】

八幡作業所は、1 年生 1 名、2 年生 3 名、3 年生 1 名の 5 名の方のインターンシップを受け入れました。事前に複数の法人内事業所見学を行ない、事業所の雰囲気や先輩利用者たちのダイレクトメール封入の仕事を実際に見ることで「はたらく」イメージを持っていただきます。

事例を通して、1 年生と 2 年生の方のインターンシップの様子を紹介します。

はじめに、1 年生の B さんです。初めてのしごと体験で、3 日間、主に封入作業を行ないました。職員からの説明をしっかりと聞いて、手で資材の取る方法、向きを確認して、封入する作業を進めました。封筒が破れないように一つひとつ丁寧に、慎重に作業を行なっていました。封入まで終わると、職員が検査をする場所に持って行きます。八幡作業所では自ら作業に向かうことを目標にしていますので、検査の場所は、持って行く場所をわかりやすくするために、視覚表示を色を用いて示しています。1 日目は検査場所までゆっくりとした足取りで迷いがある様子でしたが、3 日目には自信を持って持ってくるできるようになりました。最終日、終わった瞬間に迎えに来られていた保護者の方を見て、両手でガッツポーズをしていた姿が印象的でした。やり終えた達成感を感じてもらえたのだと思います。学校とは違う環境の中で、「はたらく」という体験での負荷は予想以上だったかもしれませんが、インターンシップを通して将来のイメージを持ってもらうことができたと思います。

次に、2 年生の C さんです。5 日間のインターンシップを行ないました。はじめは緊張した表情で過ごしていましたが、徐々に慣れていくと表情も和らぎ、職員に報告をする姿が見られるようになっていきました。封入作業では一つずつ自分で確認しながら、じっくりと作業を行なっていました。職員とのやりとりの中でくり返し説明した通りの手順で進めることができ、なんと最終日には封入作業での正しい方法が身につき、さらに封入するスピードも速くなり、根気よく作業を続けることができるようになりました。職員から「良いですね、できていますよ。」と評価を受けると、安心した表情です。「できた」という体験の積み重ねから自信へと繋がっていたように感じます。



【職員からの評価が気になります】

卒業後の進路への一步に

当法人のインターンシップでは、特別支援学校等高等部 1 年生から体験希望を受け入れています。1 年生にとって卒業までの時間はありますが、どのような場所でどのような仕事や活動をするのか、学校の実習や、卒後の進路に向けて考えていただく一つの機会になればよいと思っています。当法人では生活介護事業 3 事業所、就労継続支援 B 型事業 5 事業所を、各事業所で利用する方の力に合わせた事業内容で展開しています。本人が安心した場所で、安定してはたらき、活動していただけるように、そして一人ひとりが自信を持って、毎日が楽しく、充実した生活を送ることができるようにしていきたいと考えています。

文責：東 竜太郎（ななほしワークス）/菅野 いづみ（八幡作業所）

きょうされん夏季販売へのご協力ありがとうございました

売上の一部はきょうされんの活動財源となります。

- ・テンミリオンハウス月見路
- ・筑波大学附属視覚特別支援学校
- ・その他、個人の皆さま



【とびっくす】～インスタだより vol.27～ #自立生活体験



自立生活体験の 1 期目が終わりました！
それぞれの目標に合わせた日課へとり
くみ、3 カ月間をやり抜きました。日課へのとりくみ
を通じた本人の生活する力の向上のみならず、家族
にとっても将来を考える機会になったと思います。

只今、2 期目に向けた準備中・・・利用者と家族にと
って実りあるものになるよう、鋭意努めます！！

今月の動向 ～令和 7 年 8 月～

8 日(月) 常任理事会
12 日(火)～15 日(金) 下記休業(GH 除く)
20 日(水) 所長会議
24 日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
28 日(木) GH 学習会、生活介護学習会
29 日(金) 常任理事会



来月の予定 ～令和 7 年 9 月～

1 日(月) 地域自立支援協議会
4 日(木) 学ぶ学習会・B 型学習会
きょうされん東京支部役員会
9 日(火) 常任理事会
10 日(水) 幼児児童学習会
17 日(水) 所長会議
18・25 日(木・水) 歴史研修
18・19 日(木・金) ワークイン中町旅行
24 日(水) 常任理事会
27 日(土) きょうされん東京支部運営委員会
28 日(日) OCT 第 1 回講座



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

＜発行人＞ 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

＜編集人＞ 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町 4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円